

岩倉具視幽棲旧宅、実相院訪問、三条界限散策



出町柳駅から叡電「鞍馬行き」に乗車、岩倉駅下車



岩倉邸の内部見学



係の方から案内がありました。中村先生に負けないくらい軽妙な語り口でわかりやすかったです。

岩倉具視は和宮降嫁を推進したことから、尊王攘夷派から裏切り者との誤解を受け、孝明天皇の計らいで岩倉にて約5年間過ごしました。誤解が解けてからは、「王政復古の大号令」にも関与するなど、新しい日本作りに貢献されました。また、地元の人々との交流も大事にされていたようで、明治以降も京都に来た際は、必ず岩倉に顔を出して宴会を開いていたそうです。岩倉具視への印象が変わりました。





岩倉邸から徒歩3分で行ける「実相院」、初夏には「床みどり」秋には「床もみじ」が楽しめます。  
建物内部は写真撮影禁止。ここで紹介するのはポスターの写真です。奥比叡を借景とした庭もあります。



京阪三条に移動。鴨川東側の高山彦九郎の像を見学。尊王の思いが強く、京都に来るたびに御所に向かって  
拝礼されていたそうです。西側に移動すると弥次喜多さんの像。ここが東海道のゴールです。



三条大橋の擬宝珠（ぎぼし）には、池田屋騒動時についたとされる刀傷跡が残っています。  
暑い日の屋外散策の後は、「抹茶かき氷」。 全員で疲れをいやしました。